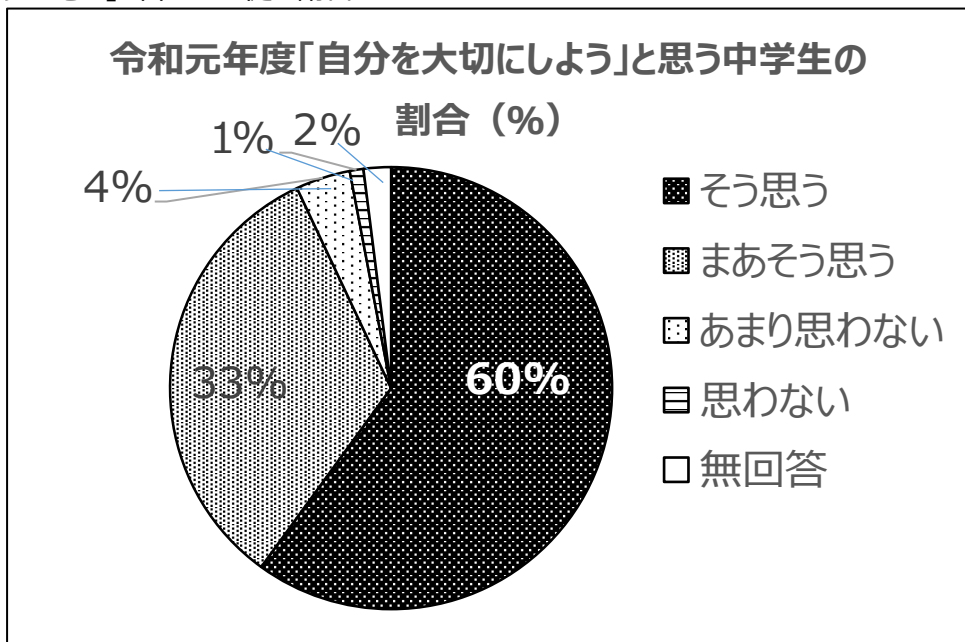


事業名	事業内容	対象者
重点 生と性のカリキュラムの推進	市内の小中学校・高校と連携し、授業を通して子どもたちの自己肯定感の醸成を図ります。	児童、生徒
	「安心相談カード」を中学生・高校生に配布し、身体のことや交友関係、親子関係などに関する悩みなどについての相談窓口の周知を図ります。	生徒
重点 事業所等での「こころの健康」に関する出前講座	「こころの健康」について、保健師等が事業所等で健康教育を行います。	事業所、勤労者

指標名	基準値 (平成29(2017)年度)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目指す方向性 (2024年度)
「生と性のカリキュラム」の受講後「自分を大切にしよう」と思う中学生の割合	—	※平成31年度から集計するため実績なし	93.3%	92.2% (10月28日現在)	↗
事業所等での「こころの健康」に関する出前講座の実施回数	—	0回	2回	0回	↗

※1 「生と性のカリキュラム」授業後のアンケートで「自分のことを大切にしようと思いますか」の設問に「そう思う」「まあそう思う」と答えた生徒の割合




事業名	事業内容	対象者
重点 うつ・自殺対策相談窓口ネットワーク会議	自殺に関する関係機関が集まり、小牧市の自殺の現状について周知・検討する機会とするとともに、各相談機関で抱えている相談の対応事例を講師よりアドバイスいただき、相談能力を向上させていく。また会議を通じて連携を深め、うつ自殺予防に対応できるネットワークの構築に向けて開催します。	相談支援者

指標名	基準値			令和2年度	目指す方向性 (2024年度)
	(平成29(2017)年度)	平成30年度	令和元年度		
うつ・自殺対策相談窓口ネットワーク会議の開催回数	年1回	1回	1回	2回(予定)	➔



	令和元年度	【予定】令和2年度
開催日	令和元年 10月21日 (月)	第1回目 令和2年 11月 (書面会議) 第2回目 令和3年 1月18日 (月)
内容	1. ネットワーク会議の目的と小牧市自殺対策計画について 2. 事例検討・グループワーク	第1回目 ネットワーク会議の目的と小牧市自殺対策計画について資料配布。ネットワーク構築について意見聴取。 第2回目 相談窓口担当者対象研修
講師	小牧市民病院 佐部利 了氏	名古屋いのちの電話協会 兼田 智彦
参加者	・相談窓口に関わる庁内外職員 合計 30名	・相談窓口に関わる庁内外職員

事業名	事業内容	対象者
重点 ゲートキーパーの養成	地域や職場で自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応（悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る）を図ることができるゲートキーパーの養成講座を開催します。	市民・事業所

指標名	基準値				目指す方向性 (2024年度)
	(平成29(2017)年度)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
ゲートキーパー養成講座受講者数	332人	236人	120人	30人	 (10月28日現在)
令和元年度					
市民対象	令和2年3月1日(日) 午後1時開場 午後1時30分開演(午後3時終了) 講師：澤登 和夫氏(うつ専門カウンセラー、精神保健福祉士) *新型コロナウイルス感染症対策のため中止。				
職員対象 49名参加	令和2年2月19日(水) 講師：名古屋第二赤十字病院 精神科医 竹内 浩氏				
保健連絡員対象 全71名参加	第1回目 令和元年7月10日(水) 午前9時30分～11時30分 第2回目 令和元年7月17日(水) 午前9時30分～11時30分 講師：臨床心理士 定森 露子氏 (心理相談室こころ)				
令和2年度					
市民対象 【予定】	令和3年3月7日(日) 午後1時開場 午後1時30分開演(午後3時終了) 講師：澤登 和夫氏(うつ専門カウンセラー、精神保健福祉士)				
職員対象 【予定】	第1部 一般職員対象 令和3年2月25日(木) 午後4時～5時 第2部 管理職対象 令和3年2月25日(木) 午後5時30分～6時30分 講師：椋山女学園大学 加藤 容子氏				
保健連絡員対象	第1回目 令和2年10月9日(金) 午前10時～11時 参加者数30名(要予約) 第2回目 令和2年10月29日(木) 午前10時～11時 (要予約) 講師：臨床心理士 定森 露子氏 (心理相談室こころ)				